

文教警察企業常任委員会資料

令和4年6月22日（水）

宮崎県警察本部

目 次

1 その他報告事項

県内における自然災害の現況と県警による災害対策について・・・・・・・・資料 1

文教警察企業 常任委員会 資料	県内における自然災害の現況と県警による 災害対策について	令和4年6月22日(水) 宮崎県警察本部
-----------------------	---------------------------------	-------------------------

1 県内における自然災害の現況（主なもの）

(1) 風水害

- ア 令和3年9月 台風14号接近に伴う土砂災害（宮崎市内海地区）
- イ 令和3年7月 県内初の大雨特別警報に伴う浸水被害（えびの市）
- ウ 令和2年9月 台風10号接近に伴う土砂災害（椎葉村）



○ 内海地区の土砂崩れ



○ えびの市の浸水被害



○ 椎葉村の土砂崩れ

(2) 地震、津波

- ア 日向灘沖を震源とする地震
 - (ア) 令和4年1月 最大震度5強（延岡市・高千穂町）
 - (イ) 令和元年5月 最大震度5弱（宮崎市・都城市）
- イ トンガ諸島付近の大規模噴火に伴う津波注意報発表（令和4年1月）

(3) 今後の発生が予想される大規模災害

- ア 南海トラフ地震、津波災害
- イ 霧島山の噴火災害

2 県警による災害対策

- (1) 災害対策に資する体制及び装備資機材の整備
- (2) 実戦的な災害警備訓練の実施
 - ア 令和3年10月～大規模災害対応総合警備訓練
 - イ 令和4年5月～西都警察署による災害時拠点設置訓練
 - ウ 令和4年6月～機動隊による各署の災害警備訓練に対する巡回指導（毎年実施）
- (3) 住民に対する防災講話、防災指導の実施
- (4) 警察ヘリにおける広域運用
- (5) 関係機関との緊密な連携

【活動状況】



大規模災害対応総合警備訓練（令和3年10月22日）



西都警察署による災害時拠点設置訓練（本年5月）

地域警察官による防災講話

3 災害対策の充実強化事業について（主なもの）

(1) 災害対策装備資機材の整備

危険度の高い災害現場における安全性、機能性を考慮し、整備する資機材を選定
また、阪神淡路大震災以降に整備した装備資機材は、老朽化のため順次、更新を行っている。

【主な装備資機材】



チェーンソー



エンジンカッター



災害現地本部用テント

(2) 災害用非常食の整備

大規模災害発生時、連日連夜にわたり、救出救助活動等に従事する警察部隊や、被災情報の収集、関係機関との連絡、被災地における各種警察活動等の災害対応に従事する警察職員に対して非常食を整備している。

(3) 防災気象情報の収集に係る各種システムの整備

ウェザーニューズから提供される気象情報の中でも、専門性の高い些細な情報の収集を目的に警備第二課、機動隊、県下13警察署に配備している。